

第68回
沖縄地方交通審議会
船員部会 議事録

平成26年6月27日(金)

沖縄総合事務局

第68回沖縄地方交通審議会船員部会

日 時 平成26年6月27日（金）14時00分
場 所 沖縄総合事務局 1F 「共用会議室」

出席者： 公益委員 宮里部会長、春田委員
労働者委員 姫路委員、大崎委員、辻委員
使用者委員 大城委員

沖縄総合事務局 玉城海事振興調整官
竹之内課長補佐、池原（労政担当）

議事次第

○開 会

○議 事

1. 第67回船員部会の議事録承認について
2. 管内の雇用状況等について
3. 中学生対象の「体験学習」報告について
4. 意見交換

○閉 会

（配付資料）

1. 第67回船員部会の議事録（案）
2. 船員職業紹介実績等一覧表（平成26年5月分）
3. 「体験学習」報告書

宮里部会長

定刻でございますので、会議を始めさせていただきます。

本日は、公益委員2名、労働者委員3名、使用者委員1名が出席されており、船員部会運営規則第9条の規定による定足数を満たしており有効に成立していることを報告いたします。

(事務局による配付資料の確認)

宮里部会長

それでは、第67回船員部会議事録の承認について、お諮りいたします。

お手元に配付されております議事録を御確認ください。第67回船員部会の議事録につきまして、原案のとおり承認してよろしいでしょうか。

(異議なし)

宮里部会長

異議なしということで、承認されたものといたします。

続きまして、議題2の「管内の雇用状況等」につきまして、事務局に説明をお願いします。質問は最後に受け付けたいと思います。

事務局（竹之内）

平成26年5月分の管内雇用等状況等の概要を説明させていただきます。

●求人状況について

新規求人数は4件でした。

前月は1件で3件減少。前年同月は1件で3件増加となっております。

月間有効求人数は25件でした。前月は21件で4件減少。前年同月は5件で20件増加となっております。

月間有効求人数25件の内訳としましては、商船等19件、漁船6件となっております。月末未済求人数は23件でした。

●求職状況について

新規求職数は8名でした。前月は6名でしたので、2名増加。

前年同月は、8名で増減無しとなっております。新規求職数の内訳としましては、商船等6名、漁船2名となっております。

月間有効求職数は21名でした。前月は21名でしたので増減無し。

前年同月は33名でしたので12名減少となっております。月間有効求職数21名の内訳としましては、商船等15名、漁船6名となっております。月末未済求職数は15名でした。

●成立状況について

5月は、成立に至った者はございませんでした。

●求人倍率について

5月の月間有効求人倍率は1.19倍でした。前月は1.00倍でしたので0.19ポイント増加。

前年同月は0.15倍でしたので1.04ポイント増加となっております。

●新規求職者の退職理由又は求職理由別内訳について

5月の新規求職者8名のうち、離職者5名の退職理由としては、自己都合が3名、定年・期間満了が2名となっております。離職以外の方の3名の求職理由としては、就業中で転職希望が3名となっております。

新規求職者が所属していた会社所在地については、管内が3名、管外が2名となっております。

●失業等給付支給内訳について

受給者実人員は3名。支給延べ件数は3件で、基本手当支給金額は34万2,209円。再就職手当受給者人数は2名で、再就職手当支給金額は62万82円。その他の支給はありませんでしたので総支給額は、96万2,291円でした。

宮里部会長

ただいまの説明につきまして、質問等はございませんか。

大崎委員（労）

月間の有効求人・求職数において、漁船の事務部員に求人・求職数が1名となっていることから、成立が出来るようにお願いします。

宮里部会長

事務局よろしいでしょうか。

事務局（池原）

成立できるよう、努力したいと思います。

宮里部会長

議題3の中学生対象の「体験学習」につきまして、事務局から報告をお願いします。

事務局（池原）

～中学生対象の「体験学習」報告～

宮里部会長

ただいまの報告につきまして、質問等はございませんか。

春田委員（公）

仕事の制服姿にあこがれる生徒もありますので、制服を着用した船員を見ていただけるのもいいですね。

大崎委員（労）

海員組合においてもカーフェリーや旅客船の一般公開のような事を実施しており、船員の制服姿や肩章等は子供達にとってもあこがれるものだと思います。

宮里部会長

体験学習には、父兄の参加はありましたか。

事務局（池原）

教師・保護者は、16名参加されています。

宮里部会長

参加人数は年々増えてきているんですね。

事務局（池原）

前回が51名で、今回が約90名の参加となっております。

大崎委員（労）

体験学習も良い評価結果となっており、今後もこの取組を継続していただきたい。

この件に関し、新聞記事に沖縄県の船員数が掲載されていましたが、この中には外国人船員の数字も含まれていますので、今後は日本人船員のみの数字を使用していただきたい。

春田委員（公）

体験学習を実施すると沖縄水産高等学校（海洋技術科）を希望する生徒が増えていくと思いますが、定員に対して志願者の状況はどうですか。

辻委員（労）

今年度においては、海洋技術科の入学志願者数が定員の2倍となっていました。

春田委員（公）

定員の枠が増えるといいですね。

大崎委員（労）

実習船だけでなく、学校の学科定員を含めて双方の定員を増やす必要があります。実習船の代替時期も近いことから定員を増やせるように要求しております。

宮里部会長

他に質問等無いようでしたら、議題4の意見交換に移りたいと思います。

大崎委員（労）

外国人の技能実習生について報告があります。

海員組合沖縄支部の技能実習制度を運用している3団体において、主にインドネシア人を約80人受け入れております。その技能実習生の労働条件が正しく運用されていないとの情報が入っていることから、私共としては沖縄総合事務局や沖縄労働基準監督署にも情報を提供し、また、対応等について相談しつつ、適切に指導していきたいと考えております。

先進国では、外国人船員の労働条件を正しく守っていない漁船に対し、排他的経済水域内での操業を禁止している国もあるようです。

宮里部会長

他に意見等無いようでしたら、事務局から連絡がありますのでお願いします。

事務局（池原）

前回、ECDIS搭載に係る海技免状の取扱いについて説明しましたが、内航船に任意で搭載された場合の取扱いについて改めて確認したところ、この場合、内航船でも限定解除した海技免状でなければ職員としての乗船ができないようになります。

次回の船員部会は、7月23日（水）14時より5階海技試験室で開催します。

宮里部会長

それでは、本日の部会は以上で終了します。